

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 5 部門第 1 区分

【発行日】令和 3 年 9 月 16 日 (2021.9.16)

【公開番号】特開 2021-25505 (P2021-25505A)

【公開日】令和 3 年 2 月 22 日 (2021.2.22)

【年通号数】公開・登録公報 2021-009

【出願番号】特願 2019-146174 (P2019-146174)

【国際特許分類】

F 0 4 C 2/344 (2006.01)

F 0 4 C 15/00 (2006.01)

【F I】

F 0 4 C 2/344 3 3 1 C

F 0 4 C 15/00 L

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 8 月 3 日 (2021.8.3)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

内部にポンプ室（20）を形成するケーシング（2）と、
上記ケーシングの内側に配置されると共に該ケーシングに対して偏心して回転するロータ（3）と、
上記ロータと共に回転すると共に上記ケーシングの内側面に摺動する複数のペーン（4）と、
上記ロータを回転させるモータ（5）と、
上記モータが固定されると共に、上記ケーシングが固定される、被固定部材（6）と、
を備え、
上記ケーシングは、上記ロータの回転軸方向（Z）における上記ポンプ室の両端よりも中央側において、上記ケーシングの外側面（25）から突出した中央寄りフランジ部（23）を有し、
上記ケーシングは、上記中央寄りフランジ部における複数箇所において、上記被固定部材に固定されており、
上記被固定部材は、上記ケーシングとは線膨張係数が異なる部材からなる、ペーンポンプ（1）。

【請求項 2】

上記ケーシングは、上記回転軸方向の両側から互いに固定される第 1 ケース体（21）及び第 2 ケース体（22）を有し、上記第 1 ケース体は、上記ケーシングの外側面から外側へ突出した第 1 フランジ部（211）を有し、上記第 2 ケース体は、上記ケーシングの外側面から外側へ突出した第 2 フランジ部（221）を有し、上記第 1 ケース体と上記第 2 ケース体とは、上記第 1 フランジ部と上記第 2 フランジ部とにおいて、互いに固定されていると共に上記被固定部材に固定されており、上記第 1 フランジ部と上記第 2 フランジ部とのうちの少なくとも一方は、上記中央寄りフランジ部である、請求項 1 に記載のペーンポンプ。

【請求項 3】

上記回転軸方向における上記ポンプ室の中央を通ると共に上記回転軸に垂直な平面を、

中央平面（F）としたとき、該中央平面の両面側のそれぞれに、上記ケーシングの上記外側面に対する上記中央寄りフランジ部の付根部（231）の少なくとも一部が存在する、請求項1又は2に記載のベーンポンプ。

【請求項4】

上記ロータの回転速度が一定となるように定回転制御される、請求項1～3のいずれか一項に記載のベーンポンプ。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

本発明の一態様は、内部にポンプ室（20）を形成するケーシング（2）と、
上記ケーシングの内側に配置されると共に該ケーシングに対して偏心して回転するロータ（3）と、

上記ロータと共に回転すると共に上記ケーシングの内側面に摺動する複数のベーン（4）と、

上記ロータを回転させるモータ（5）と、

上記モータが固定されると共に、上記ケーシングが固定される、被固定部材（6）と、
を備え、

上記ケーシングは、上記ロータの回転軸方向（Z）における上記ポンプ室の両端よりも中央側において、上記ケーシングの外側面（25）から突出した中央寄りフランジ部（23）を有し、

上記ケーシングは、上記中央寄りフランジ部における複数箇所において、上記被固定部材に固定されており、

上記被固定部材は、上記ケーシングとは線膨張係数が異なる部材からなる、ベーンポンプ（1）にある。